

2019年4月 名古屋市議会選挙立候補者公開アンケート集計表

送付人数103名

4/13現在 回答数29名

当選14名(無投票当選1名を含む)

集計開始3/ 28 ～ 4/6投票日・後日到着分

68議席/94名挑戦 北区は無投票当選5名

現・新・元 当選回数=●内の数字

(当選回数は今回の当選を含む)

質問 1 現在の名古屋市立小学校・中学校は障害者権利条約・第24条「教育」を遵守した学校であるとお考えですか？

選択肢 1 障害者権利条約を遵守した状況である 2 遵守した状況とは言えない 3 その他

質問 2 障害者基本法を遵守した学校であるとお考えですか？

選択肢 1 障害者基本法を遵守した状況である 2 遵守した状況とは言えない 3 その他

質問 3 障害者差別解消法を遵守した学校であるとお考えですか？

選択肢 1 障害者差別解消法を遵守した状況である 2 遵守した状況とは言えない

質問 4 教育委員会や学校を改めるためには何が必要であるとお考えですか？

選択肢 1 教育委員会や学校への法律遵守を求める研修会 2 市議対象の意識向上のための学習会開催 3 その他

質問 5 学校環境を改善するためにエレベーターの増設を施策として要望していただけますか？

選択肢 1 EVを始め学校の環境整備（BF化）は必要 2 特別支援学校の充実が足りない 3 その他

質問 6 障害のある人への差別を解消するためには何が必要と思われますか？

自由回答

党名	性	名	質問1			2			3			4			5			6			
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	文章回答			
返信到着 3/28分																					
日本共産 熱田区 新	西田	とし子 No.1 落選	②			②			②			①	②	①			記入有り				
			質問1 ②を選択した理由 小中学校のバリアフリー化が実現しておらず少人数学級も一部の学																		
			年でしか進んでいない。教員も十分配置されておらず、ひとりひとりに丁寧な指導と援助ができていない																		
			質問2 ②を選択した理由 ひとりひとりの人権を尊重し自立と社会参加の支援が充分とは言えない																		
			質問3 ②を選択した理由 社会の状況も障害者差別の解消も進んでおらず、小中学校においての相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会づくりをすすめていくべきと思う																		
			質問4 ①②を選択した理由 1も2も必要と思う。保護者の意思の最大限尊重といいながら学校数の不足、教員の不足で十分な指導、援助がなされていない。すべての関係者が学習するべきと思う																		
			質問5 ①を選択した理由 まさに共に生き共に学ぶ環境になっていない。障がい者だけでなくお年寄りにもやさしくない。学校は災害時の避なん所にもなるので必要																		
			6 障害があってもなくても一人の人間として尊重されなければならない。そのことは憲法にも書かれているが日本の社会にその意識が根づいていない。ひとりひとりの国民が大切にされる社会をつくと共に差別をなくす意識改革が必要と考える																		
返信到着 3/29分																					
日本共産 東区 新	村瀬	和弘 No.2 落選	②			②			②			①	②	③	①		記入有り				
			質問1 ②を選択した理由・バリアフリー化が進んでいない・少人数学級が十分進んでいない																		
			2 ②を選択した理由・施設のバリアフリー化が不十分・学級定数を引き下げる必要がある																		
3 ②を選択した理由・バリアフリー化が不十分。改善を要する・教職員の増員が必要																					

			4 その他 市民に十分しられているとは思いません。全ての市民を視野に入れた周知・啓発が必要と考えます。世論形成に全力をあげます						
			5 特別支援学校がマンモス化していることは承知しています。早急な改修実現に全力をあげます。市立学校へのエレベーター設置などバリアフリー化に賛成です						
			6 公共施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進することが、幅広い市民への啓発にもつながると思います						
減税日本 千種区 現②	手塚 No.3 当選	将之	③	③	③	① ②	①	記入有り	
			質問1 ③を選択した理由 インクルーシブ教育の推進を図る努力はしているが障害者権利条約を遵守し、その全てが実現しているとは言えない						
			2 ③を選択した理由 相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け努力しているが検討の余地ありと考える						
			3 ③を選択した理由 共生社会の実現に向け努力しているが全ての差別が解消している状況とは言えない						
			6 障害のない人が障害のある人の実状を知り理解・認識を深めること。その上で差別解消法を理解し行動すること						
立憲民主 天白区	田中 現⑦ No.4	りか 当選	②	②	②	① ②	①	無し	
減税日本 南区 新	榎沢 No.5 落選	利彦	③	③	②	②	①	記入有り	
			質問1 ③を選択した理由 障害者権利条約に関しての知識を持ち合わせておりません。不明・不勉強は今後、補完してまいります						
			2 ③ を選択した理由 国際条約に順ずるまでもなく国内法で制度設計すべき。その国際規準に照らし合わせて不備があれば国際条約に準拠すべきと考える						
			3 ②を選択した理由 造園業の業務で天白区の曙荘、植田寮等の障害者施設での造園業務の際、彼らと彼らを世話する職員のたいへんさをかい間見た際、彼らを取り巻く状況は施設のにも良いとは感じ得なかった						
			4 ②を選択した理由 私自身の知識不足から必要性を感じる						

			5 ①を選択した理由 名古屋城天守閣も個人的には必要と考える（EV設置が必要と考える） 6 議会・議員へのロビー活動
日本共産 瑞穂区 新	おぜき No.6 落選	雅美	② ② ② ① ② ① ② 記入有り 質問1 ②を選択した理由 必ずしも障がい者の方に援助されているとは思えない。本来なら一人一人に援助者がつくべきと思う 2 ②を選択した理由 教育を受けるための充実した支援があるとは思えない 3 ②を選択した理由 逆に今の教育は差別選別のつめこみ教育が行われ普通の生徒さんでも差別されているように思う 4 ①②を選択した理由 教育委員会、学校、議員等のすべての関係ある機関に研修を行うべきだと思う 5 ①②を選択した理由 やはり特別支援学校を充実すべきです。当面は各学校にエレベーターをつけるべき 6 すべての障がいのある人に対し健常者と同じような行動ができるようバリアフリー化は完全に行うこと
日本共産 北区 現③	岡田 No.7	ゆきこ 無投票 当選	② ② ② ③ ① 記入有り 質問1 ②選択の理由 障害者権利条約と名古屋市の障害児教育の現状（という題を付けての回答） 教育の権利保障は、ただ「市内に特別支援学校がある」ということではなく、「生活する地域で、特性に応じた教育環境があることが必要。バスに揺られて60分近くの子どもの立場にたてば、バス通学などは、「合理的配慮」とは言えない。そもそも、特別支援学校の設置基準がないため、マンモス校の解消さえなされない事実がある、権利条約に沿って、党として設置基準を設けるよう求めている 質問2 ②を選択した理由 支援が必要な子どもの増加と障害者基本法の遵守（という題を付けて） 発達障害の診断が比較的早期に可能になり、これまで「困難な子」とされてきた子どもが、特性に応じて専門的な教育や医療を受けることが必要だとの認識は広がっていると思うが、それを担うだけの専門職の養成が数・質ともに追いついていない。市は肢体不自由の子どもが就学する際、一人でも特別支援学級を設置するよう改善してきたが、それ以上に特別支援学級の

生徒が増えている現状で、障害の特性に応じた教員配置が十分されていない現状がある。基本法を遵守できるだけの、教員の増員が必要で、党として国に求めている

質問3 ②を選択した理由 学校教育と差別解消法（という題を付けての回答）

障害の有無にかかわらず、子どもたちが教育の中で、恐怖に支配され、あきらめを強要されるものであってはならない。天白養護学校の教員による生徒虐待の事件では、こうした恐怖による支配が特別支援教育の現場であったものであり、断じて許せない。「一教員の資質の問題」ではなく、根底に障害者差別の意識が教員集団にあったのか、問題と認識しても、教職者として発言もできない集団となっていたのか、今後事件の検証と改善は急務。なごや子ども条例、差別解消(法)条例をしっかりと教育現場にも市民の中にも根付いていくことが必要

質問4 ③を選択した理由 就学に関して十分な情報提供がされていない現状への対応
（という題を付けて回答）

就学先の選択は、障害児・保護者には、その後の成長発達にも大きく影響することから、決定過程は丁寧に行われなければいけない。子どもに関わってきた保育士、幼児教諭、児童相談所発達相談員、医療機関等も、就学先について意見、助言がされるべきと考える。しかし、現状のギリギリの教員、職員体制では困難であることも事実。法に沿って必要な調整等がなされるように、人や財源の確保を国に求めている。現状では、教育委員会が、関係者の意見や助言も求め、保護者の納得と同意が得られるよう最大限していく必要がある

質問5 ①を選択した理由 学校のバリアフリーについて（という題を付けての回答）

施設のバリアフリー化は、障害の有無にかかわらず必要がある。現在の名古屋市は肢体不自由の障害のある子どもが就学することが決定した時点から、バリアフリー（エレベーター）化を検討するという後手の対応となっていて大変問題。また、学校施設は避難所や地域の行事などの利用が前提の施設であるから、障害のある子の在籍の有無にかかわらず、バリアフリーでなければならない

質問6 民意も無視する今の政治の中で、障害者権利条約を現実の物にしていくのは困難と考えるが、障害者権利条約を批准したことによって、日本の障害者にかかわる法律が国際的な監視下になったことは重要である。障害のある人の差別の実態、不合理な事実を告発していくこと

			が必要。名古屋市においては、当事者の皆さんの意見を聞き、議員として法や条例に沿って改善を求めている * コメント 日頃より、障害者の生活と権利を守るため、様々な運動に取り組んでおられることに敬意を表します。早速、「インクルーシブ教育の推進を図る」政策についてのアンケートの回答をお送りします。分量が多くなってしまいましたので、別紙としました。同封した別の文書は、日本共産党の2017年総選挙に向けての政策のうち、「32,障害者・障害児-総合支援法、差別解消法、障害者権利条約、障害者権利条約、『基本合意』『骨格提言』にもとづいた障害者施策を実現します」の中の「7、教育の保障」を添付しましたので、併せてみていただければと思います。 質問の意図に対し、率直に書かせていただきました。的確に回答できているか心配ですが、回答しながら、権利条約の批准に恥じないような、施策の推進のために、皆さんとも一緒にしっかり取り組まないといけないと改めて感じている次第です。よろしく御願いいたします (別紙は省略)
立憲民主 東区 現①	国政 No.8	直記 落選	② ② ② ③ ③ 記入有り 6 当事者意識の醸成
無所属 中区 新	今枝 No.9	きよみ 落選	① ① ① ① ③ 記入有り 質問1 ①を選択した理由 教育制度や生涯学習が整備されているという点で、障害者権利条約を遵守した教育を推進しているといえる。しかしながら、個々の様々な障害（寝たきり、人工呼吸器装着等の生活ケアが必要な障害児、知的、情緒、肢体不自由、聴覚、視覚等）に対応し、一人一人の子供たちにとって、質が高く最も適した教育環境を提供しているとは言い難い。教育環境の十分な整備や周りの子供たちの人権感覚等においてもまだまだ課題があり、「インクルーシブ教育」をより一層推進していく必要があると考える 質問2 ①を選択した理由 名古屋市においては、子供を第一に考え、保護者の考えに寄り添いながら、障害の有無にかかわらず、可能な限り、共に教育を受けられるように配慮しており、障害者基本法を遵守しているといえる。児童・生徒一人ひとりの個別指導計画を作成し、個人に必要な

な合理的配慮や支援を実施している。しかし、自立及び社会参加の支援等については、社会の受け入れや学校の支援の双方に課題があり、まだまだ改善できる点があると思っている

質問3 ①を選択した理由 人権教育や道徳教育を重視した教育（心の教育）とともに、個々に応じた合理的配慮を推進し、障害者差別解消法を遵守している。しかし特別支援学級そのものが差別であり、すべての児童・生徒が普通学級で等しく教育を受けることが望ましいとの考えがあったり、障害者や障害への理解が充分でないことから、不適切な言動や行動が実際に教育現場である場合もあり、それらの課題を今後も克服していく必要が有ると考える

質問4 ①を選択した理由 学校には専門委員やコーディネーターが存在しているものの、専門知識が不足している。また、教育環境を整備するための予算（人的、施設等）も重要である。市会議員として、教育委員会、学校の現状、障害の正しい理解をし、個々の障害者の立場に立って支援できる方法や、問題点の改善策を共に考えなければならないと思っている

質問5 ③を選択した理由 障害者のみならず、けがをした生徒や、高齢者にとっても必要であるが、命に係わる耐震工事、空調設備、備蓄物資等、他にも重要不可欠なものもある。今現在名古屋市では、エレベーターは全校設置となっていないが、車いすの生徒が入学することが分かった時点で順次設置しており、今後も障害を持つ児童・生徒への教育環境の整備を、財政課題とも向き合いながらより一層進めていく必要があると考える

6 子供から高齢者まで、年齢を問わず障害に関する知識・理解を深めるための啓発活動として、リーフレットの作成・配布・障害への正しい理解の促進を図るための講演会や研修会の開催等を障害者や関係団体と連携して行う必要がある。「自分の大切さとともにほかの人の大切さを認めること」ができ、それが態度や行動にまで現われるように、学校、家庭、地域で人権感覚を育成することが重要である。「障害は個性」として理解してもらい、誰もが自分らしい生活を営むことができるような社会の実現に向けて、一人一人が自分の課題として考え行動することが大事であると考えている

返信到着3/30分

日本共産	柴田 民雄	②	②	②	① ②	①	記入有り
	No.10	質問1 ②を選択した理由 学校施設のバリアフリー化が不十分なうえ、教員配置基準・学級定員					

昭和区 現①	落選	などインクルーシブ教育を実施するための基準とは程遠い現状だから 2 ②を選択した理由 質問1と同様 3 ②を選択した理由 質問1と同様 4 ①②を選択した理由 現場や教育委員会の理解の推進と同時に、予算の裏付けとなる議決を行う議員の理解の推進も共に必要だから 5 ①を選択した理由 基本的人権が尊重されるインクルーシブ教育を実現するためには不可欠だから 6 今回のアンケートは主に学校現場の問題に集中されていますが、行政全般の差別解消の率先垂範と、障害当事者の皆さんと行政の連携による、幅広い市民・議員・事業者への啓発・表彰活動の推進などが全面的に必要なと考えます
返信到着4/1分		
立憲民主 千種区 現⑦	斎藤 亮人 No.11 (まこと) 当選	② ② ② ③ ① 記入有り 質問1 ②を選択した理由 通常の小中学校が障害児を排除するしくみになっている以上、当然遵守している状況とはいえない 2 ②を選択した理由 前項と同じ 3 ② // 前項と同じ 4 ③ // 幼児の時から親への教育・研修の機会をしっかりと作り、普通学校(学級)修学の意義を教える。教職員養成大学において障害児の普通教育の重要性をしっかりと学ばせる 5 ①を選択した理由 あらゆる公共施設のバリアフリー化は必要であり通学・学習のためはもとより障害者の先生を増やすため。避難所としての学校の役割を果たすためにも必要です 6 この世の中の能力主義的な価値観や社会構造を抜本的に変えない限り差別はなくなる
日本共産 南区	高橋 祐介 No.12 落選	② ② ② ③ ① 記入有り 質問1 ②を選択した理由 小中学校の施設のバリアフリー化が実現していない。学校生活アシスタントの配置や一部の学年で少人数学級が実現しているとはいえ、学

級定数が大きすぎ教員も十分配置されていない中で障害者ひとりがいていねいな教育を受ける状況にない。また天白養護学校での虐待事件は教員及び教育委員会に権利条約・障害者基本法・差別解消法をうけた教育がなされていない現れといえる

2 ②を選択した理由 基本法が「可能な限り」としていることそのものが権利条約に違反しているが、その基本法から見ても市は遵守しているとはいえない。名古屋市では小学校の統廃合がある一方で過大校問題があるなど障害児が、学ぶ環境が整備されていない。特別支援学級の増加は「できる子づくり」をすすめる河村市政や安倍政治の文教政策が原因といえる。「子どもの最善の利益」のための教育への転換が必要

3 ②を選択した理由 天白養護学校の虐待事件が起こったことを見れば、障害者差別解消法を遵守した状況ではないことは明らかです

4 ③を選択した理由 その子にどんな教育環境が良いかなど学校と保護者に限らず保育・幼児教育・児童相談・医療機関も含めて意見を交換することが必要と考えます。幼児期から青年期にかけて途切れることなく支える主な支援機関が必要です。人や財源が必要な問題で国に法律を遵守させるよう議員・行政の役割を学習する場や機会が必要です

5 ①を選択した理由 バリアフリー化は肢体不自由な障害者だけでなく最大限対象を広げることができる社会整備なので、どの学校においてもされるべきです。「合理的配慮」を一般的あいまいに理解し工夫でなんとかするというのではなく原則、点字、音声、外国語表示も含めて必要です

6 障害は人間としての個性であり一人ひとりが人間として尊重され、だれもが尊厳をもって生きられる社会をつくる必要があります。障害は社会の側にあるという「社会的障害」をなくすために社会全体で差別や虐待を許さず障害者の人権の尊重のために力を合わせます。憲法と障害者権利条約の理念を地域のすみずみに広げながら、だれもが安心できるインクルーシブな社会の実現をめざします

日本共産 名東区 現②	さいとう 愛子		②	②	②	① ②	①	記入有り
	No.13	当選	6 教育環境の整備を行うとともに一人一人の人権教育など意識改革を行う					
無所属 守山区 新	浅野 共市		③	③	③	③	③	記入有り
	No.14	落選	質問1 ③を選択した理由 人間は分かっているでも欲で忖度。今やAI検証しか相互理解は無理でしょう。申し上げたいことは片付けの本コンマリさん。全米でウケ、さらに貧困の人々のムダ省く生活まで話題が広がっているとテレビで。(アイディアも活かし方。日本語は言葉の生命力)但しAI検証も闘う男の視点は共存のない偏り虚業の限界。育てる女性の具体的な日常も見えるAI検証し合うマーケティングまで来た。AIは日本女性の神では。AI検証も、お母さんの心配は胎児に激痛。一歳児が泣き止む音楽。楽しい検証こそ平和では 質問2 ③を選択した理由 法律や制度も日々進化する現実には追いつかない事実。そこに審判の視覚はW杯五輪にAIリクエスト審判時代。焦って花は咲かない。四季があり現場対応は操縦士の着陸レベル差。イラ立ち99%トラブル原因。ストレス解消は冷静な吐ききる忍者の呼吸法。慢性痛の消えたとガッテン紹介の脳科学。AI検証で楽しい可能性が見えればイジメ虐待も忘れるには 質問3 ③を選択した理由 様々なシステム。Jアラートも未だミス続き。うっかり運転ミスは誰にも有る。飛行機100万部品の相性学。海と山の意見。瞬時解析AIカバー議会も活かし方。SNSも時と場と流れに的の絞り方。ゴルフの1打も地水火風空に距離感。何を基準に見分けるか。判断の目安ポイントが教育にない・欲の紐解くAI検証こそ市民ファースト。見えるビックデータに忖度はない。北風の議論ではなく雪解け太陽の言葉を探し合いましょう 質問4 ③を選択した理由 教育委員会も市議会議員も、どう有るべきかAI検証される時。政党政治は地方に要らない。ムダ省く監査役にもなれない議員は要らない。監					

			3 ②を選択した理由 当事者や家族の方々の声をなかなか受け止めてもらえないということをお聞きしているため 4 ①②を選択した理由 保護者の方から相談等もいただいています。しっかりと受け止めることができるように学ぶことが必要だと考えます 5 ①を選択した理由 全ての子どもが同じ環境のもとで学ぶことができるように学校のバリアフリー化など施設環境整備をすすめる必要があるから 6 一緒に過ごし友となること。そうすれば自分の大切な人となり自分自身のこととして受けとめれるようになるから
日本共産 中村区 現①	藤井 No.16 落選	ひろき	② ② ② ③ ① 記入有り 質問1 ②を選択した理由 市内の小中学校施設のバリアフリー化が実現していないから 2 ② // 基本法は「可能な限り」としていることからすると市は遵守しているとも取れるように基本法そのものが権利条約に違反する。しかし基本法第16条から見ると遵守しているとはいえない。名古屋市内では小学校の統廃合がある一方、過大校問題があるなど障害児が学ぶ環境が整備されていない。これらの点を改善すべきである 3 ②を選択した理由 天白養護学校での虐待事件がおこった点をみれば歴然です 4 ③を選択した理由 その子にどんな教育環境が良いかは学校と保護者に限らず保育・幼児教育・児童相談・医療機関も含めて意見を交流することが必要であると幼児期から青年期にかけて途切れることなく支える主な支援機関が必要です。 5 ①を選択した理由 バリアフリー化は肢体不自由な障害者だけでなく最大限対象を広げることができる社会整備だから、どの学校にも設置されるべきです。 6 障害は人間としての個性でありひとりひとりが人間として尊重され、誰もが尊厳をもって生きられる社会をつくる必要があります。障害は社会の側にあるという「社会的障害」をなくすために社会全体で差別や虐待を許さず障害者の人権の尊重のために力を合わせます。憲法と障害者権利条約の理念を地域の隅々に広げながら、誰もが安心できるインクルーシブ

		な社会の実現をめざします					
日本共産 守山区 現②	くれまつ 順子 No.17 落選	②	②	②	③ ①	記入有り	
	質問1 ②を選択した理由 小中学校施設のバリアフリー化が実現していない。一部の学年で少人数学級が実現しているとはいえ、学級定数が大きすぎ教員も十分配置されていないので障害者への指導と援助ができているとは思えない 2 ②を選択した理由 質問1と同様、施設面でバリアフリー化が充分なされておらず教員が十分配置されていないために障害者ひとりひとりにきめこまやかな指導援助ができる環境がそこなわれていると思います 3 ②を選択した理由 質問1で答えた通り学校において障害のある子どもたちへの「合理的配慮」を保障する教職員の配置が十分ととっておらず障害者差別解消法を遵守している状況とは思えません 4 ③を選択した理由 その子にどんな教育環境がよいかは学校と保護者に限らず保育・幼児教育・児童相談・医療機関も含めて意見を交流することが必要だと考えます。幼児期から青年期にかけて途切れることなく支える主な支援機関が必要です。人や財源が必要な問題で国に法律を遵守させるよう議員、行政の役割を学習する場や機会が必要です 5 ①を選択した理由 バリアフリー化は肢体不自由な障害者だけでなく最大限対象を広げることができる社会整備だから、どの学校にも設置されるべきです。「合理的配慮」を一般的あいまいに理解し工夫でなんとかするということなく、原則、点字、音声、外国語表示も含めて必要です 6 障害は人間としての個性でありひとりひとりが人間として尊重され、誰もが尊厳をもって生きられる社会をつくる必要があります。障害は社会の側にあるという「社会的障害」をなくすために社会全体で差別や虐待を許さず障害者の人権の尊重のために力を合わせます。憲法の理念を広げ、だれもが安心できるインクルーシブな社会をめざします						
返信到着4/2分							
立憲民主	おのざわ みき	②	②	②	① ②	①	記入有り

緑区 新	No.18	落選	質問1 ②を選択した理由 障害者権利条約第24条は、障害者が「自己の生活する地域社会」での就学を基本としている。日本においては「総合的な観点から就学先を決定する」とされているが、地域の普通学校での障害児への支援体制の不備等によって児童、保護者の意向がくみ取られず、また支援体制が用意できないという現実の前で普通学校就学を諦めざるを得ない状況がある。名古屋市立小学校では人口呼吸器を使用している児童が普通学級でともに学ぶ実践が行われている点は評価できる（現在は中学校在籍中） 2 ②を選択した理由 質問1と同じ理由により、選択肢2を選択しました。保護者への情報提供の際に、名古屋市内外で先進的に行われている事例を紹介するなど、地域の学校に就学することを基本とした情報提供が必要です 3 ②を選択した理由 現実には障害の有無によって就学先が分けられている状況であり、普通学校に通う児童への支援も欠如している。そのため、普通学校に障害児を通わせる保護者には健常児の保護者よりも負担が過大です。これらは障害児童及びその家族への差別的な取り扱いであると認識しています 4 ① ②について 選択肢内での研修会、学習会への障害当事者、障害者の家族の参画が欠かせません 5 ①を選択した理由 障害の有無に関わらず、地域の学校に就学することが基本であるため、学校の設備整備は欠かせません。エレベーターの増設は緊縛の課題としています 6 差別解消のための前提として、障害を医学モデルではなく社会モデルとして捉えることが必要です。個人に原因を記する、健常者の欠損として捉える医学モデルではなく、周囲の環境との相互作用により障害という問題が生じると捉えることが、障害者の差別に関する問題を社会全体の普遍的な問題として考える第一歩です						
	自由民主 守山区	松井 No.19	よしのり 当選	②	②	②	①	③	記入有り

現③		2 ②を選択した理由 (1)の回答と同じです 3 ②を // (1)の // 4 ①③ // まず議員は個々で意識向上の活動を計るべきと考えます 5について 障害のある児童生徒が更なる支援・指導を受けることができるように予算確保に努力してまいりたいと思います 6 やはり市民ひとりひとりの意識の向上
返信到着4/3分		
日本共産 中川区 現⑤	江上 博之 No.20 当選	② ② ② ③ ① 記入有り 質問1 ②を選択した理由 小1、2年で30人学級、中1年で35人学級ですが、他は、学級定数が大きく教員がていねいな教育のためには不足しています。障害者ひとりひとりのていねいな援助もむづかしい状態です。バリアフリー化も実現できていません 2 ②を選択した理由 基本法第16条が「可能な限り」とはしているが目的から言えば遵守しているとはいえない。過大校があり障害児が学ぶ環境が整備されていない 3 ②を選択した理由 天白養護学校での虐待事件を見ると遵守した状況とは言えません 4 ③ // その子がどんな教育環境がよいかは学校と保護者だけでなく成長過程で関係者の意見が生かされる必要があると考えます。人や財源の必要な問題で国に法律遵守、議員、行政の役割を学習する場が必要と考えます 5 ①を選択した理由 バリアフリー化は肢体不自由な障害者だけでなく様々な条件の人たちも念頭に入れ、どの学校にも設置されるべきです。「合理的配慮」をあいまいにせず原則エレベーターの増設など必要です 6 障害者の人権の尊重が何より大切です。その実効性あるものにするには憲法と障害者権利条約の理念を地域のすみずみに広げるとともに、だれでも安心出来る排除しない社会の実現が必要です
返信到着4/4分		
日本共産	山口 清明	② ② ② ③ ① 記入有り

港区 現④	No.21	落選	質問1 ②を選択した理由 市内の小中学校のバリアフリー化はおくれています。1クラスの子どもの数も多く教員も足りません。これではとても障害者・児への合理的配慮も行えない状況です。特別支援学校への教室不足なども深刻です 2 ②を選択した理由 特別支援学校の児童生徒ひとりひとりへの教育計画も十分に作られておらず教員の力量、専門性にも問題が多いとおもいます。教員の増員、不可欠です 3 ②を選択した理由 天白養護学校の教員による生徒虐待事件などで学校においても差別解消へのとりくみが不十分なことが明らかになりました。私もこれまでに特別支援の教員についての苦情・相談をいくつもうけています 4 ③ を選択した理由 就学先の決定はていねいにインフォームドコンセントの考え方ですすめていく必要があります。そのために必要な体制(=教員等の数・質)をしっかりとつくっていくことが必要です 5 ①を選択した理由 いろいろな意味で学校が地域にひらかれた存在となるためにもバリアフリー化は必ずすすめなければいけない課題だとおもいます 6 市政があらゆる施策について当事者参加を貫くこと。そして社会的弱者を排除したり苦しめている国の政治を根本的に変えていくことが必要です						
	日本共産 No.22	石原 愛子 落選	②	②	②	① ②	①	記入有り	質問1 ②を選択した理由 小中学校の施設のバリアフリー化は進んでいない。先生が多忙で一人一人に目が届かず指導援助がなされているとは言えないのでは 2 ②を選択した理由 先生の数も少なく充分な対応がなされている状況ではない 3 ② 〃 養護学校での虐待事件があり法律自体をしっかりと学び指導していく必要があると感じます 4 ① ②について 教育委員会や議員の教育だけでは足りず幼児期から一貫して保育園・学校・医者等、連携が必要。国がしっかりと予算をつけるべき 5 ①を選択した理由 障害者のみならず学校を訪れる家族の方（ベビーカーや高齢者の方）たちにとっても必要
中区 新									

			6 障害があるなしにかかわらず一人一人が人間として尊重されるよう憲法や障害者権利条約を地域の人々に広げるよう様々な機会を通して行うようにしていくべきではと思います						
日本共産 千種区 新	酒井 No.23	ケンタロー 落選	②	②	②	③	①	記入有り	
	質問1 ②を選択した理由 施設のバリアフリー化が実現していない。基本的に学級定数が過大であり、教員の配置も不十分であると考え。教員及び教育委員会の権利条約等への理解の不十分さ、理解を深めるための余裕が不足していることは天白養護学校での事件にもあらわれていると考える 2 ②を選択した理由 市内では小学校の統廃合がある一方、過大校問題があるなど障害児が学ぶ環境が整備されていない。特別支援学級の増加は「できる子づくり」をすすめる文教政策が原因と考える。「子どもの最善の利益」のための教育へ転換していくことが必要だと考える 3 ②を選択した理由 天白養護学校で虐待事件が生じた点を見れば遵守されているとは言い難い状況だと考える 4 ③ 〃 その子にとってどんな教育環境がよいかは学校と保護者にかぎらず様々な専門家・関係者も関わって選択肢が検討されるべきだと考える。そのための長期的な支援を可能にする機関が必要だと考える 5 ①を選択した理由 バリアフリー化は最大限対象を広げることが求められると考える。様々な来訪者が想定されうる学校施設にもエレベーターを初めとした環境整備が求められると考える 6 障害を障害たらしめている社会観念を理解することが求められていると考える。憲法や障害者権利条約の理念を地域の隅々に広げながら、ひとりひとりが個人として尊重される社会の実現を目指します								
返信到着4/5分									
日本共産	田口 No.24	かずと 当選	②	②	②	①	②	①	記入有り
質問1 ②を選択した理由 小中学校のバリアフリー化が進んでいない。学級定数が多すぎるし教員も十分に配置されておらず、障害者が丁寧な教育を受ける状況に									

天白区 現⑦			ない	2 ②を選択した理由 名古屋市内では小学校の統廃合がある一方、過大校もあり、障害児が学ぶ環境が整備されていない	3 ②を選択した理由 天白養護学校での虐待事件から明らかである	6 「社会的障壁」をなくすために、社会全体で差別や虐待を許さず、障害者の人権の尊重のために力を合わせます			
公明 千種区 現④	田辺 No.25	雄一 当選	③ ③ ③ ③ ③ 記入有り	質問1 ③を選択した理由 学級編制、教職員定数の改善など、質の高い教育の確保に一層力を注ぐ必要があります	2 ③を選択した理由 障がい者の職場実習の推進など自立及び社会参加の支援に一層力を注ぐ必要があります	3 ③を選択した理由 学校施設のバリアフリー化や日常生活、学習活動などの人的支援など可能な限り共に教育を受ける事の出来る環境整備、障がいに対する理解を深める取組に一層力を注ぐ必要があります	4 ③を選択した理由 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実に向け、双方ともに意識を高める必要があります	5 ③を選択した理由 学校環境の改善については障がい児とその保護者の意見と合わせて地域住民等の声も踏まえる必要があります。又、災害時の避難所としての機能の充実も考慮しなければなりません	6 2015年9月の本会議で公明市議が提案市実現した「障害者差別解消を推進する為の条例」に基づく取組みの中で障がい者に対する理解と支援が一層進むことを期待します
公明 守山区 現⑤	金庭 No.26	宣雄 当選	③ ③ ③ ③ ③ 記入有り	質問1 ③を選択した理由 教育の質の向上、確保に努める可きと考えます。そのための教員の適正配置と定数改善や学級編制の見直し、教科書を個に合わせる。またICTの積極活用も重要	2 ③を選択した理由 教育カリキュラムの見直しや改善を推進す可き。卒業後の自立や社会				

		参加がしやすくする為に障がい者の職業体験や実習の充実、専門性の習得を目指した専門コーディネーターは必要と考えます 3 ③を選択した理由 障がい者の生徒とともに学び触発しあえる学びの場としての学校、生涯を通じて誰もが友人として交流が続く様な相互理解が深められ様に取り組を進める可きと考えます 4 ③を選択した理由 障がいを抱える児童生徒の実態を的確に捉えると共に将来に向けた希望が出来るだけ叶えられる体制をとれるニーズの汲み取りの具体策を考慮していける方針を決める可基と考えます 5 ③を選択した理由 学校は今や地域の重要な拠点となっており障がいを抱える児童をはじめ地域住民の声をふまえ計画的なバリアフリー化を推進していく事がノーマライゼーションの理念からも重要です 6 2014年にインクルーシブ教育の理念を掲げた障害者権利条約を批准した障害者差別解消法が施行されています。今後、障がい者の皆さんに対する理解と支援の推進を期待しています
返信到着4/6分		
立憲民主	久田 くにひろ	② ② ② ① ② ① 記入有り
瑞穂区 新	No.27 当選	質問1 ②を選択した理由 障害者権利条約第24条は、障害者が自己の生活する地域社会での就学を基本としている。日本では総合的観点から就学先を決定するとされているが、地域の普通学校での障害児への支援体制の不備等によって、児童・保護者の意向がくみ取られず、また、支援体制が用意できないという現実の前で普通学校就学を諦めざるを得ない状況である。名古屋市立小学校では人口呼吸器を使用している児童が普通学級とともに学ぶ実践が行われている点は評価できる 質問2 ②を選択した理由 上記同様、保護者への情報提供の際に、名古屋市内外で先進的に行われている事例を紹介するなど、地域の学校に就学することを基本とした情報提供が必要です

		質問3 ②を選択した理由 現実には障害の有無によって就学先が分かれている状況であり、普通学校に通う児童への支援も欠如している。そのため、普通学校に障害児を通わせる保護者には健常児の保護者よりも負担が過大です。これらは障害児童及び家族への差別的な取り扱いであると認識しています 質問4 ①②を選択した理由 選択肢内での研修会、学習会への障害当事者、障害者の家族の参画が欠かせません 質問5 ①を選択した理由 障害の有無に関わらず、地域の学校に就学する事が基本であるため、学校の設備整備は欠かせません。エレベーターの増設は課題です 6 差別解消の為の前提として、障害を社会モデルとしてとらえるべき。周囲との相互作用により障害という問題が生じるととらえることが大切です
公明 名東区 現⑤	小林 祥子 No.28 当選	③ ③ ③ ① ② ③ ① ③ 記入有り 質問1 ③を選択した理由 障害者が生活する地域において平等に教育の機会が得られるよう教職員定数の改善が必要と思います。それにより、それぞれに合わせた教育で能力を伸ばすことができると思います 質問2 ③を選択した理由 自立及び社会参加の支援等に更に取り組む事だと思います。地域の福祉や医療関係者との連携を強化し就労のための支援に専門家の力を借り力を注ぐ必要があると思う 質問3 ③を選択した理由 地域の学校で同じように学ぶことができるように障がいに対する理解を深める努力と学校で安心して学習活動できる人的な支援を十分にしていける必要があると思います 質問4 ①②③を選択した理由 就学先の決定に「保護者の意思」に応じていけるよう、又、必要な支援ができるよう皆が意識を向上させることが必要。就学時からではなく、早期から児童の状態を把握して地域で支援する体制を整えるべきと思います 質問5 ① ③を選択した理由 障がいのある児童生徒が不自由な環境とならないように環境の整備をするべきと思う。更に、学校施設は防災拠点としての役割ももって

		いるので地域の方の声も含め皆の意見でバリアフリーをすすめることが大切と思う 6 誰もが等しく必要な存在であるという理念を深め広げていきたい。市でも「障害者差別解消推進条例」が4月1日より施行され、市、事業者、市民が障害を理由とする差別の解消に取り込むことをすすめていきます。この条例により差別の解消、障害のある人への支援がすすむよう推進したいと思います
	返信到着4/13分	
公明 南区 新①	坂井 大輔 No.29 当選	③ ③ ③ ③ ③ 記入有り 質問1 ③を選択した理由 一人一人のニーズの応じた質の高い教育が必要だと思います 質問2 ③ // 自立支援に一層力を注ぐ必要があると思います 質問3 ③ // 障がいに対する理解を深める取組が必要だと考えます 質問4 ③ // 双方の意識を高める必要があると思います 質問5 ③ // 学区全体の声を踏まえた計画的なBF化の推進が必要だと思います 6 4月より施行される「障害者差別解消を推進するための条例」により障がい者に対する理解と支援が一層進むことを望みます